



ゲンバイヒルガオ咲いています！

記事

- ◇ 海岸の利用マナー向上に向けて
～砂浜への車の乗り入れについて～
- ◇ ボーイスカウトがアカウミガメ産卵調査を実施

砂浜への車の乗り入れについて

宮崎海岸は、県指定天然記念物「アカウミガメ及びその産卵地」に指定されています。

アカウミガメは4月末から8月末にかけて産卵のために砂浜に上陸し、卵は約60日後にふ化します。ふ化した仔ガメはほとんどの場合夜間に海に帰ります。

仔ガメが海に帰るときに大きな障害となるのが「車のわだち」です。仔ガメにとっては深い谷であり、一度入ってしまうとアリ地獄と同様、這い上がることは非常に困難です。わだちに入った仔ガメは海へは向かえず、わだちの中を右往左往しているうちに太陽が昇り干からびたり、カラスなどの標的になります。

この問題について、海岸の利用マナー向上を考える「宮崎の海岸をみんなで美しくする会（以下、「美しくする会」）」では、7月2日に砂浜への車の乗り入れ口のひとつにユッカ（アツバキミガヨラン）の移植を行いました。これは、3月末に行った注意喚起の看板設置（本紙第24号で紹介）に続いて第2弾の活動です。

ぜひ一度砂浜を歩くなど海岸に目を向けてもらい、海岸環境の保護のため利用マナーの向上にご協力願います。

また、仔ガメが海に帰るときに「漂着物（ゴミ）」も大きな障害となります。美しくする会では海岸清掃も企画中です。詳しい日程・場所が決まりましたら、宮崎河川国道事務所ホームページ（アドレスは裏面に記載）にも掲載しますので、ぜひご参加下さい。



ユッカは常緑低木。葉は厚くて堅く、先端は鋭いとげで、とても痛いです。



移植前。
わだちが残っており、車が入りしづかくなっています。



移植後。
1カ月後に観察。芽が出ており、根付いているようです。



作業風景。
車が通っている場所だけあって、地面が固く、掘るのに苦労しました。また、気を抜いた拍子に、先端のとげにやられました。



移植にあわせて設置された注意喚起の看板

ボーイスカウトとのアカウミガメ産卵調査

7月2日に、アカウミガメの保護活動に長年取り組んでいる希少動植物種保存推進委員の中島義人さんの協力を得て、ボーイスカウト宮崎第5団がアカウミガメの産卵調査を行いました。

残念ながら、産卵の現場を見ることはできませんでしたが、本物の卵、仔ガメの剥製にふれることができ、「卵の中が動いた！」など感じたことを、こども同士、こどもと保護者が話し合っていました。

調査の前には、仔ガメが安全に海に帰ることができるよう、海岸清掃を行いました。集められたゴミは、軽トラック約2台分にもなりました。

海岸よろず相談所では、このような海岸環境学習のお手伝いも行っていますので、お気軽にご連絡ください。



熱心に説明を聞くこどもたち



仔ガメ(剥製)にふれるこどもたち



卵にふれるこどもたち

出前講座などお気軽にご相談ください!

海岸よろず相談所では、宮崎海岸の環境や侵食対策事業に関する説明・意見聴取をイベント・自治会・地域づくり協議会や学校などに出むいて出前講座を行いますので、ご要望の際はお気軽に下記へご連絡ください。

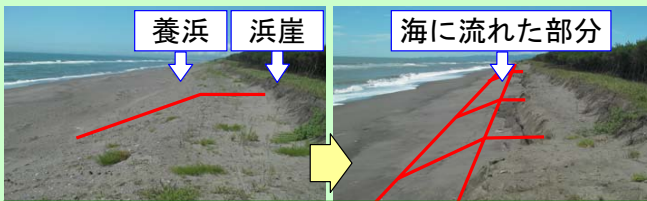
台風6号の影響

7月19日に最接近した台風6号では、宮崎海岸で最大8.9mの波高(有義波高)を観測しました。

浜崖の前面に養浜を実施していた住吉海岸では、養浜の一部の砂が海に流れました。これにより浜崖の後退はほとんどありませんでした。なお、流れた砂は、今後、砂浜の安定・回復に貢献すると考えています。

大炊田海岸では浜崖が後退しました。

なお、大炊田海岸への養浜について検討中です。実施の際はご協力願います。



住吉海岸：養浜の状況変化



大炊田海岸：浜崖後退の状況

海岸に関するご相談やご意見・ご質問などありましたら

○海岸よろず相談所○

【国土交通省 宮崎河川国道事務所 宮崎海岸出張所】

にご連絡下さい。

TEL：0985-62-7050/FAX：0985-62-7051

〒880-0211 宮崎県 宮崎市 佐土原町 下田島 9515-6

【旧 宮崎地方方法務局 佐土原出張所】

※宮崎河川国道事務所ホームページ

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

※海岸情報(宮崎海岸Publication)

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/html/kasen/sskondan/index.html>

